

【高等学校用】

令和6年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	佐賀県立有田工業高等学校(定時制)
-----	-------------------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・全校生徒40名中、中学時の不登校が38%、特別支援等の配慮を要する生徒が23%在籍する中、出席率90%超は、本校が生徒にとっての居場所となっていることの証だと考えられる。少人数の利点を生かした個別の学習体制をさらに整え、生徒の学力の向上を目指したい。 ・特別支援、教育相談では、専門家との連携による生徒支援を行うとともに、保健室、栄養士からは生徒の健康面についての指導等を行い、保健厚生部を中心とし、生徒の学校生活全般で全職員が協力して対応することができた。 ・生徒へのアルバイトの斡旋を積極的に行うことで、生徒の社会性と就業意欲の向上を図ることができた。卒業学年の進路も例年より早い時期に全生徒決定することができた。 ・業務改革・教職員の働き方改革については、勤務時間と休憩時間の切替を明確にし、個々の業務に対する意識の向上に努めた。各部署の業務についても職員間の報告・連絡・相談で連携し、業務改善につながるよう努力した。会議資料等のペーパーレス化については今後検討を進めたい。
------------------	--

2 SAGAスクール・ミッション 学校教育目標	国内初の陶磁器工芸学校の伝統を継承するセラミック科、デザイン科を持つ西部地区の定時制高校として、ものづくりを通して生涯学び続け、挑戦し続ける生徒を育成する。
----------------------------	--

3 スクール・ポリシー	アドミッション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	グラデュエーション・ポリシー
<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりに関する興味・関心を持つ生徒。 ・専門的な知識・技術を身につけるために、各学科の学びや資格取得に積極的に取り組もうとする生徒。 ・地域や社会に何かの形で貢献したいという意欲のある生徒。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりに必要な、基礎学力と専門的な知識・技能を習得できる授業を行います。 ・学校行事・ホームルーム活動や部活動、地域との連携などによる協働活動を通して、社会人としての基本的な姿勢や思いやりの心、自律心を伸ばします。 ・生徒会活動や資格取得・コンテスト参加について、生徒の主体的、自発的な取組となるようにサポートを積極的に行います。 ・生徒それぞれが個性や長所を把握できる取組や、4年間を見通したキャリア教育で、生徒の進路意識を育み、進路実現につなげます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己や他者、地域を愛し、地域から愛される生徒 ・ものづくりを通して、生涯学び続け挑戦する生徒 	

4 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 出席率の向上と教育活動の充実 ② あいさつ、服装、マナー指導の徹底と思いやりの心の醸成 ③ 進路保障に繋ぐ学力向上、資格取得、部活動 ④ 生徒、職員の心身の健康増進
------------	---

5 重点取組内容・成果指標

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		主な担当者		
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	中間評価 進捗状況と見通し	達成度(評価)	最終評価 実施結果		学校関係者評価	
	取組内容	成果指標(数値目標)							評価	意見や提言
●学力の向上	○出席率の向上 ○基礎学力の向上と学習意欲の喚起	○出席率90%以上を目指す。 ○「学校評価保護者アンケート」(年2回実施)の「学力の向上」の項目の回答の平均値「3.2」以上を目指す。 ○「学習に関するアンケート」(生徒対象)の回答の平均値「3.2」以上を目指す。	・欠席が多い生徒・保護者に対して、欠席日数・欠課時数を定期的に伝える。 ・生徒の学習意欲の向上のために、教師の指導法の改善と学力の定着を目的とした、職員相互の授業見学と公開授業を実施する。 ・生徒が落ち着いて学習できる環境をつくるために、教育相談や特別支援教育を中心として各分掌間で連携し、生徒支援体制を整える。						教務 学年	
	○基礎学力向上を目指すことにより、進路実現へ繋いでいく	◎就職率・進学率を100%にする。	・就業率を上げるための進路指導を行う中で過去問題やSPI対策の充実を図る。 ・基礎学力向上のため、国・数・英での小テストを行っていく。						進路	
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○学校評価生徒アンケートの「心の教育」の項目の平均値「3.3」以上を目指す。	・生徒の実態を考慮し、地域社会や学校生活との関連性を踏まえた特別活動の年間計画を策定する。 ・学校行事や講話等の感想文をキャリアパスポートに保管させることで、生徒自身の考えや気持ちを将来への展望に繋げるようにする。						教務 学年	
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取り組みの充実	○学校評価・保護者等アンケートにおいて、いじめに関する学校の取り組みの項目がB判定以上を目指す。	・生徒、保護者等に向け年3回のアンケートを実施する。 ・日頃から生徒の状況を職員全体で共有し、生徒の変化があった場合には速やかに面談・情報共有・保護者等に連絡を行う。 ・月1回「心のチェック」を実施し、気になる生徒への早期対応を確実に行う。						生徒指導 保健	
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」 ●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●健康により食事をしている生徒の割合70%以上を目指す。 ○「健康・体づくり」には規則正しい生活習慣が必要であることを理解できる生徒80%以上を目指す。	・毎日の「生活チェック表」を記入することで、生徒自身が生活習慣を見直し、改善を心掛けるような意識付けをする。 ・給食喫食率が低い生徒への声掛けを積極的に行い、食の大切さを伝えとともに給食室への入室を促す。 ・生徒と保護者等を対象に、健康意識を調査するアンケートを実施し、健康管理能力を高めるような指導を行う。						保健	
	○生徒会活動と部活動を通じ社会性を身に付けさせる。	○学校評価生徒アンケートの「生徒会活動」の項目の平均値「3.0」以上を目指す。	・各部活動において礼儀作法指導や他者と協力して成果を得る活動を行う。 ・協調性や達成感を得る主体的な生徒会活動を実施する。						生徒会	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校時間の削減。	●教育委員会規則に掲げる時間外在校時間の上限を遵守する。	・週1回の定時退勤日を設定する。 ・会議資料のペーパーレス化で事前の閲覧ができるようにし、会議時間の短縮を図る。 ・職員間の意思疎通と報告・連絡・相談を徹底し、業務分担と互いに助け合う環境作りを努める。						管理職	
●特別支援教育の充実	○「困り感」を有する生徒をサポートする教育の充実。	○「困ったときに相談する相手が分かっているか。」「困ったことがあったときに相談することができたか。」等のアンケートを実施する。	・生徒・保護者が希望する配慮や支援について、職員間で情報共有を行ったり、生徒が相談しやすい環境を整えたりする。 ・毎週生徒連絡会を行い、配慮が必要な生徒への支援について、情報交換を行う。 ・特別支援教育に関する教職員のスキルアップを目指し、研修で学んだことについて、紙媒体で提供したり、伝達講習会を行ったりする。						保健	

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		主な担当者		
評価項目	重点取組内容		具体的取組	進捗度(評価)	中間評価 進捗状況と見通し	達成度(評価)	最終評価 実施結果		学校関係者評価	
	取組内容	成果指標(数値目標)							評価	意見や提言
○情報発信	○学校の魅力発信と広報活動の充実	○自分の学校を中学生に進めることができる生徒の割合80%以上、教職員の割合85%以上にする。	・部活動等での生徒の活躍を学校新聞や学校ホームページを通して学校内外に発信する。						管理職 教務	
○地域産業との連携	★本科生や聴講生制度の取り組みをセラミック科・デザイン科の特色も交え、セラミック科展やデザイン科展、卒業制作展等を通じ地域へ発信する。	○授業や聴講生講座終了後にアンケートを取り、地域へ作品等を発信したことへの自己評価70%達成を目指す。	【本科生】 地域産業に貢献できる技術者育成を目指し、特色ある授業を展開して指導する。 【聴講生】 地域産業技術者の技能向上のため、卒業コースはろくろ成形の技術習得、デザインコースは最先端の知識・技能の取得を目指す。						セラミック科 デザイン科	

●...県共通 ○...学校独自 ◎...志を高める教育 ★...唯一無二の誇り高き学校づくり

6 総合評価・ 次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
--------------------	---